



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 6. 29

No. 12

## 本物の体験から得られること

### 「六郷食べ歩きボランティア活動」から

6月23日、24日に「六郷食べ歩きツアー」が行われました。23日は山形県と岩手県から、24日は秋田市、能代市、大館市、そして岩手県から、合計で372の方がお越しく下さいました。浅舞公園や十文字のサクラノボ、美郷町のラベンダーを観光するコースの中で、お昼を六郷でとってもらおう企画でした。六郷高校の生徒さんも14名が二日間お手伝い下さいました。

六郷小学校では、23日が26人、24日が12人の子ども達がボランティア活動に取り組んでくれました。バスが到着する広場でお弁当やパンフレットを配る仕事。湧太郎で抽選会を行ったり味噌汁を配布したりする仕事。お菓子の間弓や天川谷、くろまるで食べ物を配る仕事。ニテコでお見送りする仕事に一生懸命取り組みました。



バスのお迎え（お弁当・パンフ配布）



湧太郎で 味噌汁配布



抽選会



お菓子の間弓



天川谷のコロッケ



くろまるの水饅頭



酒房GOUのゴウ汁



ニテコで美郷町のPR活動



アンケートをお願い



見送り



### 子ども達の日記から

6年 今日ボランティア活動がありました。行く前からずっと不安でした。PR活動や、楽しそうに笑ったり、おむかえをするときに、ちゃんとできるか心配でした。でも、がんばろうと思いました。わくわく広場に着きました。着いたらすぐに山形のバスが来ました。PRのものを持ち、バスの近くで待っていました。観光客の人たちは、お弁当を持ってどこかに行ってしまいました。だから、湧子ちゃんにPRすることになりました。二台目のバスがきました。私たちは二台目からお弁当をわたしました。お弁当をわたすとき、「こんにちは、お弁当どうぞ」といったら、笑顔で「ありがとう」といってくれたので、うれしかったです。湧子ちゃんに着きました。PR活動はきんちょうしてたけど、観光客の人たちがにこにこしてたので、話しやすかったです。

今日は暑かったし、つかれたけど、楽しかったです。

6年 \_\_\_\_\_ 今日、「ニテコ&ゆう子ちゃん」のボランティアをやりました。ボランティアって何をやるのか分かりませんでした。「まだかな～まだかな～」と待っていたら、「出番だよ」と言われました。予想では、お店の中で何かやるのかなとわくわくしていたら、「外で立って、お客さんを送ってくれる」と言われました。「え～、外暑いのに」と心の中で思ってしまいました。でも、ボランティアなのでがまんして、1時間半ぐらい位外に立ちっぱなしでつかれました。

外で立っていて、「ありがとうございました。また来てください。」と言うと、お客さんも「えらいね！また来るね。」と言ってくれたので、つかれたけど、ある意味やってよかったと思いました。校長先生などが言っていた「子どもの声は大切」って、このようなことだと思いました。

(日記から一部抜粋)

5年 帰りのバスに向かうときに、「ありがとうございました。また来てください。」と大きな声で言いました。終わってからは、のどがいたくなかったけど、でもまたやりたいと思いました。

6年 お客さんはみんなほめてくれて、うれしかったです。この貴重な体験をし、ボランティアに積極的に参加したいと思いました。

6年 このボランティアで、六郷のことが県外の方にも伝わったかなと思います。

6年 笑顔であいさつを忘れずに、一人ひとりのお客さんにていねいに接客することができました。また、やりたいと思います。

6年 ボランティアをするのは初めてだったので、いい経験になったと思います。これからもボランティアをしてみたいです。

5年 思ったよりとてもいそがしく大変でした。商売というものは、本当に時間との戦いだと思い、今日、ボランティアをして良かったなと思いました。

5年 これから、こういう活動が増えてくると思うので、今日学んだことを生かして、今後も進んで積極的にがんばっていきななと思いました。(人見知りをしない・元気に・良いたいで・何事にも一生けん命)を心がけていきたいと思いました。

子ども達の日記を読んでいただければ、今回のボランティアの意義がどれだけ大きかったかが、分かっているだけだと思います。校長として今回の子ども達の働きぶりを見て、「本物の体験は、子ども達を大きく成長させる。」と感じました。

(1) 大きな声であいさつできたこと。

学校では、あんな声を出せない子だと思っていたのに、ここでは元気にあいさつできた子がいます。

(2) 自分から考えて、お客様に声をかけたこと。

お客様に、「コロッケはこちらです。どうぞ！」というように、自分で考えて行動できた子がいます。

(3) 働くことに一生懸命取り組んでいたこと。

本当にがんばって働く必要感があつたので、どの子も必死になって働いていました。

明日(30日)も行われますが、「またやりたい」と再度申し込んでくれた子達が数名います。

## 3年生 「ほんもの講座」に向けて



今年度の下学年のほんもの講座は、「演劇集団 円」による演劇鑑賞が計画されています。美郷町が文化庁の事業に応募し、それが採用になった事業です。単に鑑賞するだけではなく、子ども達も本番の演劇に関わるように、事前のワークショップが行われました。俳優さんが来てくださって、子ども達に動きや声の出し方を教えてくれました。また、11月に予定している「絵描き歌」に親しんでもらおうと、子ども達が絵描き歌を作ったりもしました。11月の本番で、子ども達も一緒に楽しめる演劇が、今から楽しみです。